

輸入種苗等の危険性に警鐘を

危険性を啓発

問 日本水産学会水産増殖懇話会の資料によると、マガキ・ホタテ貝類等の養殖において海外からの感染症は、水産業に新たな壊滅的打撃を与える可能性を含んでいる。海外からの貝類感染症の侵入・まん延防止が重要課題であると発表されている。町としてそのような可能性について把握しているのか、その対応について問う。

可能性があることは否定できない。今後県や関係機関などからの情報収集に努め、漁協や漁業者等に対し輸入貝類等に感染症が存在していることや感染症の危険性について啓発していきたい。



山田にとってカキ等貝類は重要な水産物です

現実に即した地域防災計画を

実情に合わせて実施

問 台風・洪水・竜巻等自然災害による想定外の大規模被害そして大地震大津波の反省と検証を踏まえ現実に即し計画・実施されているのか。スマホ・携帯等を利用した双方向システムの構築等の検討・実施について問う。

佐藤町長 復興計画の本命題「二度と津波による犠牲者を出さない」に即して、後世に警鐘を伝え残すことは重要なことである。その事業への取り組みについて問う。

3・11の検証、そして後世へ

今年度中に構想を進める

問 あの3・11の記憶は我々にとって絶対に忘れることのできない出来事であった。しかしながら時を刻むとともに風化していくことは免れない。町民の皆さんの協力を得てしっかりとした検証と反省を記録として残し、伝え残る先人の取り組みについても再度検証

佐藤町長 災害の状況、産業やライフラインの被害状況データ、その状況写真など詳細な記録、町と関係機関の対応活動状況、そして災害復旧の状況と復興への歩み等につ

いて証言等を交えながら、今年度中に構想を確定し来年度から作業開始していく。

その他の質問

◆復興事業の進捗状況について

豊間根信議員
(政 和 会)

